

事業団だより

～わたしからあなたへ… まごころ発信～

第117号

社会福祉法人
大分県社会福祉事業団
 大分市大津町2丁目1番41号
 大分県総合社会福祉会館
 TEL (097) 552-1316
 FAX (097) 552-1094
<http://www.oitaswo.jp>

次の半世紀(みらい)へ



陽春号

第7回大分県社会福祉事業団入団式



平成30年度新採用職員 入団式

特集

P2 - P5 実践事例研修会
 ●リハビリテーション委員会 ●サービス向上委員会 ●危機管理対策委員会 ●広報委員会

P6 - P7 実践事例研修会
 全国社会福祉事業団 実務研究論文 受賞作 ●けいせんプラザ ●大分県のぞみ園

P8 - P9 実践事例研修会
 新たな事業展開報告 ●「八つ星の丘」 ●はぎのホーム2

P10 - P11 平成30年度 法人本部 事業計画

実践事例研修会

平成30年 2月14日

(2作品)、新たな事業展開 (宇佐市、日田市) について発表しました。

リハビリテーション委員会

主な活動内容

- 摂食や嚥下に焦点を絞った、当法人独自の評価表を作成
- 言語聴覚士や作業療法士による専門リハビリテーションと、支援員等による生活リハビリテーション技術の向上と定着

摂食・嚥下障害の臨床的重症度分類 (DSS) を基に、「誰でも評価できる」「分かりやすい」「誤嚥のリスクの高さがわかる」ように作成しました。

「摂食・嚥下障害の臨床的重症度分類(DSS)」		誤嚥リスク
事業所名 _____ 氏名 _____ 年齢 _____ 歳	DSS段階 _____	
食形態: 普通食・きざみ食・ペースト食 食事方法: 全介助・軽介助・自立 ※□にチェックして、当てはまる段階の一番下の数字をDSS段階に書いて下さい。 また誤嚥リスクなし・低・高を書いて下さい。		
誤嚥なし		
【7.正常範囲】 臨床的に問題なく、治療の必要がない状態。		なし
【6.軽度問題】 主観的な問題を含めて、何らかの原因があり、摂食や嚥下が困難。ただし食事の動作や歯の問題など、経過観察で良いレベル。義歯・自助具を使用。 <input type="checkbox"/> ボーっとしている、キョロキョロしている(集中力の低下) <input type="checkbox"/> こぼれてきちんと口に入っていない <input type="checkbox"/> 指示が通りにくい(理解が難しい) <input type="checkbox"/> 唾液が少ない <input type="checkbox"/> □に到達する前にこぼす <input type="checkbox"/> 歯の状態が悪い(入れ歯の不具合、歯列不良) <input type="checkbox"/> 介助で摂取 <input type="checkbox"/> 食事形態(固形・半固形)粗きざみ・きざみ <input type="checkbox"/> 特定のををさせている(偏食・好き嫌い・食べにくさ) <input type="checkbox"/> 極端に早く、口に頬張る(早食い・暴飲暴食) <input type="checkbox"/> □口量が極端に多い		低リスク
【5.口腔問題】 誤嚥は無いが、先行期・準備期を含めて口腔期中心に障害があり、摂食に問題(食べこぼしや口腔内残留が多いなど) 食事時は食事時間の延長や指示などが必要。 <input type="checkbox"/> 長時間口にため込む <input type="checkbox"/> 時折むせる <input type="checkbox"/> 努力して嚥下している(嚥下力の低下) <input type="checkbox"/> □一食に30~45分以上かかる <input type="checkbox"/> 下顎の上下運動だけで回旋運動(すりつぶし)がない <input type="checkbox"/> 食事形態(固形・半固形)ペースト <input type="checkbox"/> かたいものが噛めない(咀嚼力低い)		高リスク
誤嚥あり		
【4.機会誤嚥】 時々誤嚥したり、咽頭残留(喉の奥に残っている)が多かったりする。摂食管理をしっかり行えば、肺炎などを起こさない。 <input type="checkbox"/> 毎食むせる <input type="checkbox"/> 痰が絡むことがある <input type="checkbox"/> 食事中、食事後に咳が集中する。		高リスク
【3.水分誤嚥】 水分で誤嚥するが、増粘剤を使うなど工夫した食物では誤嚥しない。 <input type="checkbox"/> 食事形態(水分)とろみあり		
【2.食物誤嚥】 水分、半固形、固形食など、あらゆるものを誤嚥して、嚥下できない。		
【1.唾液誤嚥】 唾液を含めて全て誤嚥する。呼吸状態が不良または嚥下反射が全く起きない。		

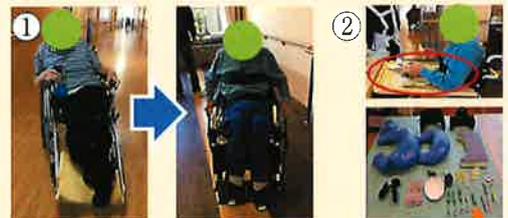
多職種協働によるリハビリテーションの充実

言語聴覚士による個別訓練の様子



- ① 個別訓練: 3語連鎖の理解の促し
「犬が外を走る(動作主+対象+動作)」をカードで表してみよう。
- ② 個別活動: 微細運動の促しキャップを開けたり閉めたり頑張っています。
- ③ 食事動作の向上: スプーンからエジソン箸(矯正箸)を使えるように練習中です。

自助具の選定



- ① シーティング
本人の姿勢にあった椅子・クッション・車椅子を選ぶことで、動作が楽になります。
- ② 自助具選定
ご本人に合ったテーブル・スプーン・皿などを選ぶことで食事しやすくなります。



平成29年度

各委員会の活動状況（4委員会）、平成29年度実務研究論文受賞作

サービス向上委員会

各所属でのスピーチ

テーマ

虐待について

対象者 全職員

実施方法 各課や各棟の会議の中で実施

法人全体で172名が発表

所属長	1名	主査	4名	看護師	9名	専門員	1名
副所属長	2名	主任	2名	作業療法士	2名	管理栄養士	1名
課長	2名	支援員	67名	言語聴覚士	2名	調理員	2名
主幹	3名	支援員援助	56名	料理人	1名	書記	1名
係長	10名	短時間勤務	3名	アドバイザー	1名	相談員	2名

発表者のコメント(一部紹介)

- テーマが虐待と聞き、どういう風に話を持って行くか不安でしたが、短い時間で自分なりに考えて発表できて良かった。
- やはりチームワークがものを言うと思うので、職員同士しっかり連携をとってチームワークで頑張っていきたい。また、気持ちにゆとりを持った落ち着いた支援をしていきたいと思う。
- テーマが虐待だったが、自分の支援の振り返りや、虐待について考えるよい機会になった。

受講者のコメント(一部紹介)

- 不安定なご利用者を一人の職員が支援するのではなく、いろんな職員が関わることが大切だと思う。全てはチームワークが必要だと感じた。みんなが協力することでうまくチームがまわり、虐待のない支援につながると思う。
- 報・連・相や心の余裕を作って行けるように、チーム全体で協力していけばと思う。

〈取り組み後の効果や変化〉

- 虐待や日頃の支援について振り返る時間を持つことができ、虐待に関して意識する機会が増え、意識が持続できた。
- 情報の共有、支援方法の共有をすることで虐待防止につながる事が認識できた。
- 一つのテーマでさまざまな角度からの発表(他職種)があり、意見交換することで共通認識を図ることができた。

主な活動内容

- 各所属で「虐待」をテーマにスピーチを実施
- 虐待防止委員会とサービス向上委員会のつながりを強化
- 改訂版職員行動規範チェックリスト実施後の検証

各所属の特色ある虐待防止委員会での取り組み

大分県糸口第二厚生園

糸口小学校6年生に人権標語を募集し、表彰式を行った。その後は園内に掲示し虐待防止を呼びかけた。

「だれもみな
最優秀賞 生き生きと
世の中に」

また、職員からも標語を毎月募集し掲示した。

「1に特性、2に環境、
3.4が愛情、5に支援」

大分県糸口厚生園

日々の支援の中で、職員が感じている不安を集約し、所属での支援の判断基準を決定した。

この支援で大丈夫かな？

全職員からアンケート形式で意見を聴取

委員会で検討

議論を交わしながら、判断基準を決定

統一した支援を周知

実践事例研修会

危機管理対策委員会

主な活動内容

- 防犯マニュアル作成
- 防犯カメラ導入後の検証

防犯マニュアルでは、
 ① 日常の安全管理
 ② 緊急時の安全確保
 ③ フローチャート
 (日中・夜間)
 について各項目を設け内容の標準化を図りました。マニュアルの作成に合わせ、防犯グッズの設置、防犯訓練の実施を行いました。

事業団防犯マニュアルの作成

平成28年7月に神奈川県相模原市の「津久井やまゆり園」、平成29年3月に大分県宇佐市の「四日市こども園」で起きた不法侵入者による事件を受け、法人独自の防犯マニュアルの作成をしました。



(大分県目田はぎの園での訓練の様子)



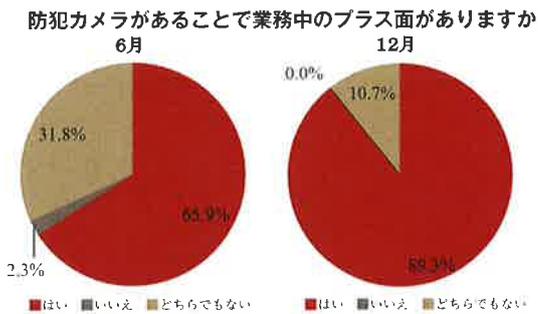
防犯カメラ導入後の検証

今年度、大分県糸口第二厚生園がモデル施設となり、防犯カメラを設置しました。設置後、意識変化について職員、ご利用者、ご家族へアンケートを行いました。

防犯カメラ設置についてのアンケート

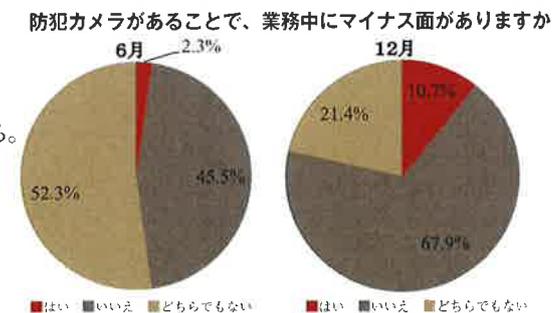
設置当初

- プラス面はあまり感じない。
- 見られているという緊張感がある。



12月現在

- 自分の支援を見つめ直せる。
- ご利用者や職員の状況が確認できる。



防犯カメラを設置したことにより、ご利用者、ご家族からも安心したとの意見が多く挙がりました。また、防犯カメラがあることで事故発生時の状況を救急隊員が確認でき、事故の経緯や負傷箇所がわかります。今後、法人内の他施設にも設置を検討しています。

広報委員会

事業団だより発行の流れ

～116号(平成30年1月1日発行)を例に～

10月委員会 掲載内容・ページ割りの協議
記事ごとに担当割り振り
各担当・所属に原稿依頼



11月委員会 各所属から上がってきた原稿を元に編集・レイアウト決め素案作成
→印刷業者へ依頼



12月委員会 初稿を元に編集作業
文章校正・レイアウト確認等



事務局決議



皆様のお手元へ

主な活動内容

- 「事業団だより」の発行・送付
- ホームページの管理(随時更新)

今年も
**ゆるキャラ
グランプリ**
に参加します!
投票よろしく
お願いします!



大分県
社会福祉事業団
ホームページ



「この部分をPRしたい」等の想いを吸い上げ、法人の明るい未来のために、全員で意識を高くもち、広報活動に努めていきます。

各所属からの「こんなことをやっています」「この部分をPRしたい」等の想いを吸い上げ、法人の動きや事業の紹介、各施設の近況報告、サービス利用状況など、法人のありとあらゆる情報を年間四回発行の「事業団だより」で発信しています。

事業団だよりの発行

春夏秋冬 事業団の今!をお届けします 平成29年度発行の事業団だより



116号



115号



114号



113号

事業団 実務研究論文 受賞作

優秀賞

「再出発!!生活再建に向けて」



大分県溪泉寮
地域係長 津島 伸一郎
つしま しんいちろう



けいせんプラザ

立ち上げまで

平成26年度溪泉寮にプロジェクトチームを立ち上げ、生活困窮者に対する支援に関しての検討を行ってきました。

平成27年度には本部事務局と大分県溪泉寮の共同プロジェクトとして事業内容の検討や、関係機関への説明・協議を行いました。

平成27年度12月1日開所

福祉関係三法に柔軟に対応します

(I)生活困窮者自立支援法



※無料低額宿泊所としての利用
利用料:1泊3食 2,500円
(施設利用料 1,250円 朝食250円 昼食500円 夕食500円)

利用期間:原則最長6ヶ月

(II)生活保護法

対象者:生活保護受給者もしくは生活保護適用見込みの方
※措置での利用となるため、福祉事務所からの依頼により受け入れる。これまでも溪泉寮で取り組んできた事業。居室不足等により十分な対応ができなかった。

(III)障害者総合支援法

事業内容:短期入所(宿泊場所や食事の提供等必要な支援を行います。)
※契約での利用である。相談支援事業所からの依頼が多い。

福祉関係三法の対象とならない方でも、行政機関や生活困窮者支援をしている民間機関からのご相談があれば、受け入れを検討します。



談話コーナー

自炊もできるように
キッチンも完備

居室の様子

- 施設概要:3階建て延べ床面積453㎡
1階が事務所、多目的室、相談室。2階は男性、3階が女性専用フロアとなっています。2階、3階にはそれぞれ洗濯室、キッチン、浴室を完備し、各居室には、トイレと洗面台があります。
- 食事は、溪泉寮のものを提供しますが自炊も可能となっています。
- 支援スタッフは4名配置しています。

けいせんプラザ外観



平成29年度 新たな取り組み「就労訓練事業」

■平成28年度に就労訓練事業について検討するワーキンググループをつくり、課題の整理等を行いました。

■平成29年6月、生活困窮者自立支援制度の「認定就労訓練事業」を開始しました。

事業概要

- 大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の基金を活用しモデル事業として取り組む。
- 有償ボランティア(700円/日)として金銭的動機付けをはかる。
- 支援者(サポーター)養成講座の開催→地域福祉の推進をめざす。
- 大分県溪泉寮が有する資源(福祉農園ハイテクでの作業など)を活用した支援プログラムとする。

人と人とのつながりを大切にした
活動を行い、生活困窮者の
"再出発"の拠点として
機能するよう、社会公益活動の
取り組みを強化する。

平成29年度 全国社会福祉

佳作

ご利用者に楽しみを

「エンジョイサポート事業」

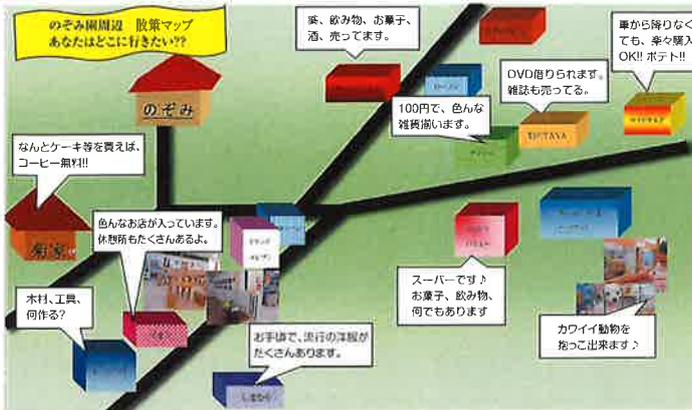


大分県のぞみ園
支援係長 高木 美帆（代表）

エンジョイサポート事業とは

ご利用者にとって一年に一回の外出よりも短時間外出や個別支援で職員と日常的に関わ

るほうが楽しめるが増えるのではな
いか、当たり前の生活
により近づくのではな
いかという考えのもと
開始した、のぞみ園独
自の新しい事業です。



業展開報告

4月1日
ブン

有料老人ホーム「八つ星の丘」



4階からの眺望



宇佐市上時枝に
有料老人ホームが開所

県内6カ所に設置した親なきあと相談室。見えてきた課題のひとつが、親なきあとの住まいの場と日常生活支援の場の確保についてでした。今回の研修会では事業開始に向けた今までの取り組みが紹介されました。いよいよ「八つ星の丘」開所です。



有料老人ホーム 八つ星の丘



一般室



特別室



機能訓練室



ラウンジ

デイサービスセンター 和々



ホール



特殊浴槽



浴場と坪庭



八つ星パーク

新たな事

平成30年
オー

はぎのホーム 2

若年障がい者向け ちゃれんじ



キッチン・ラウンジ



グループホーム全景

精神障がい者向け きぼう



居室前廊下



アパートをイメージし各部屋に玄関

日田市庄手に若年障がい者・精神障がい者向けグループホームが開所
生活をしながら一人ひとりの実践的な訓練計画に沿って一定期間で『自立』を目指します。また、関係機関との連携を図りながら地域の皆様と一緒に自立を見守っていきます。

●各施設、事業所でのサービス利用（契約）者の状況（平成30年3月1日現在）

所属名	サービス利用（契約）者数（単位：人）																	合計			
	救護施設	施設入所	生活介護	短期入所	自立訓練	自立泊訓練	移行支援	就業支援A型	就業支援B型	共同生活	発達支援	放課後サービス等	福祉型障害児施設	居宅介護等	訪問介護	日中一時支援	移動支援		相談支援	無泊事業	就業・生活支援センター登録者
地域総合支援センター			10				8	40		55	39	109		82	8		18	456		323	1,148
大分県温泉寮	120			7			5	14	33									66	3		248
大分県のぞみ園		83	94	41										16		14	6	175			429
大分県糸口学園		60	61	36									27			75					259
大分県糸口厚生園		61	68	38												16					183
大分県糸口第二厚生園		61	73	27												26					187
大分県糸口通勤寮				9	21	24				17											71
大分県なおみ園		63	59	75					13	5		60		27	2	60	5	131	4	189	693
大分県日田はぎの園		81	82	64												31					258
地域生活支援センターはぎの										24	5	30		19			20	326		387	811
計	120	409	447	297	21	24	13	40	27	134	44	199	27	144	10	222	49	1,154	7	899	4,287

(注) 1人の利用者が2以上のサービスを利用している場合は重複して計上

平成30年度

事業計画

事務局（法人本部）

1 法人経営における現状と課題

(1)ご利用者サービスのさらなる向上

平成30年度は、大分県社会福祉事業団にとって、次の大きな節目となる法人設立100周年に向けた新たな歴史の第一歩となる重要な年度である。「利用される方々の意思を尊重し、一人ひとりの望む暮らしができて、生き生きと充実した生活が送れるように支援します。」という法人理念に全職員が立ち返り、ご利用者やご家族が望む暮らしができるよう、適切なアセスメントに基づいた個別支援計画の作成と、個々のニーズに沿った質の高い、専門的なサービス提供に取り組み。

(2)社会福祉法人としての先駆的な取り組み

平成29年2月、厚生労働省は地域共生社会を実現するために、2020年代初頭に全面展開を目指すという当面の改革工程を示した。近年における共働き世帯の増加や高齢者の増加により、「子育て」や「親の介護」の支援がこれまで以上に必要となる中、子ども、障がい者、高齢者など生活上の困難を抱える人たちが、地域において自立した生活を送れるよう、地域を「丸ごと」支える包括的な支援体制を構築し、切れ目のない支援を行うことが求められている。

今後社会福祉法人として、長年培ってきた知識、経験、実績を活かし、様々な地域ニーズに柔軟かつ積極的に取組む必要がある。

(3)新たな福祉サービスへの対応

4月には、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律」が施行される。障がい者が自ら望む地域生活を営むことができるよう、「生活」と「就労」に対する支援の一層の充実や、高齢障がい者による介護保険サービスの円滑な利用を促進するための見直しが行われるとともに、障がい児支援のニーズの多様化にきめ細かく対応するための支援の拡充などの整備が行われる。

当法人として、今回の法改正の趣旨に則り、新たに新設される介護保険の要介護・要支援の高齢者の方の受け入れも可能とする共生型サービスや在宅の支援を拡充させる自立生活援助、就労定着支援等の事業についても積極的に展開し、ご利用者支援に隙間のないよう取り組んでいく。

(4)福祉人材の育成と働きやすい職場づくり

「ご利用者サービスのさらなる向上」や「社会福祉法人としての先駆的な取り組み」等を実現するために、福祉人材の育成とサービスの質の確保及びさらなるサービス向上を図る必要がある。

また、働きやすい職場づくりの環境整備等を視野に入れた研修・会議に一層力を入れるとともに、次世代育成支援や障がい者雇用の推進等にも、積極的かつ継続的に取り組む。

2 重点方針

以上を踏まえ、今年度の事業計画における重点方針として次の項目を掲げる。

(1)多職種協働で取り組むご利用者サービスのさらなる充実

ご利用者やご家族の望む暮らしができるよう、適切

なアセスメントに基づいた個別支援計画を作成し、個々のニーズに沿った質が高く専門的なサービス提供に多職種協働で取り組む。

A 高齢化に伴う心身機能の低下への対応として、引き続き作業療法士、言語聴覚士及び支援員等によるリハビリテーションに取り組み、委員会活動とあわせてサービスの充実を図る。

I 就労系事業について、レストランや弁当等の販売促進を図り、賃金向上に努める。また、B型事業所においては利用者の工資がサービス報酬に反映する仕組みに変わったため、法人を挙げてご利用者処遇等の改善に取り組む。

また、就労移行支援では、一般就労に結びつけられるカリキュラム等を策定し、基本的職業スキルを身につける。

U 児童系事業は、ご利用児に対する専門的な支援を行うことで、地域療育の拠

点としての体制を確立するとともに、関係機関にも発信し、「ご利用児の自立支援の一過程を支援する。」

(2)地域共生社会の実現に向けた事業団としての取り組み

当事業団は、社会福祉法人として長年培ってきた知識、経験、実績を活かし、様々な地域ニーズに柔軟に対応し、積極的に取り組む必要がある。

ア 国等で議論されている「親なきあと問題」の解消実現のため、高齢障がい者の入居を優先とする有料老人ホームと、高齢者と障がい者が同一事業所でサービスを受けられる通所介護事業（共生型サービス）を4月から開始する。

イ 同じく社会的課題となっている精神障がい者の長期入院解消のため、地域移行の受け皿としての共同生活援助事業所と、若年障がい者が将来的自立を目指し訓練するための共同生活

援助事業所を4月に開始する。

また、九重町に障がい者の共同生活援助事業所等が不足していることから、地域ニーズに因應するため、共同生活援助と日中活動のサービス事業を展開する。

ウ 地域活動支援センター及び相談支援事業所については、地域住民と相互に交流を図ることができるとして、地域の生活課題に総合的に相談できる体制に

取り組む。
エ 生活困窮者への支援については、「けいせんプラザ」を核に、無料低額宿泊事業と中間的就労を中心に、自立に向けた支援に引き続き取り組んでいく。

(3)新たな福祉サービスへの挑戦

4月から新設されるサービスについては、各拠点において、隙間のないようサービス提供に取り組んでいく。

また共生型サービスにおいても、八つ星の丘だけではなく、各拠点においてもご利用の児者から高齢者に障壁がないようニーズ把握に努めながら取り組んでいく。

ア 自立生活援助は、溪泉寮、のぞみ園、糸口通動寮及び地域生活支援センターはぎのにおいて4月から実施し、一人暮らしへの移行を希望するご利用者に対し、定期的な巡回訪問や随時の支援体制により、理解力や生活力等を補いながら、適切な支援を行う。

イ 就労定着支援は、一般就労に移行する障がい者が増加している中、在職障がい者の就労に伴う生活上の問題は、より一層多様化するため、就労に伴う生活面の課題に対応できるよう、就労先との連絡調整などの支援を地域総合支援センター、溪泉寮及び糸口通動寮で取り組む。

ウ 障がい者が65歳以上に

なっても、顔なじみの職員や使い慣れた事業所においてサービスを利用しやすくするため、障害福祉サービス事業での介護保険の看板を起し上げる「共生型サービス」の展開も検討する。

4月の八つ星の丘での通所介護の開始にあたっては、在宅で生活される高齢障がい者を受け入れ可能とするため、共生型サービスの指定を受け、地域の実情に合わせた取り組みを行う。

(4)福祉人材育成と働きやすい職場づくり

「組織として人材を育てる」ことを目的にした職員研修計画に基づき、各階層に応じた研修の実施や各職場での職場内研修を通して「求められる職員像」を明確にし、人事考課制度の目標管理と連動させることで、ご利用者の人権擁護はもちろんのこと、求められるサービスの提供ができる職員を育成し、一層の支援

体制と組織の強化を図る。

また、働きやすい職場づくりの充実に向けて、仕事と育児との両立のための環境整備として、育児休業を気兼ねなく取得することのできる環境を継続することにも、年次有給休暇取得の促進や職場内の意識啓発などによる所定外労働の削減など、より一層の雇用環境の整備を図る。

さらに、4月から当法人に障がい者雇用アドバイザー1名が増員され、3名となることから、地域生活支援センターはぎの内に「障害者雇用率向上対策室」を起し上げる。法人3箇所の「障害者就業・生活支援センター」の職員と各雇用アドバイザーが連携し、一体的に機能させることで、当法人の障がい者雇用の推進だけでなく、大分県の障がい者雇用率日本一に向けた取組みに協力するとともに、高い成果につながるよう取り組んでいく。

あなたの
ヘルスサポーター

大分県系口学園
管理栄養士

きむら みつこ
木村 美津子



健康に過ごすためには栄養分をしっかり
吸収できる元気な腸であることが重要です。

小腸：食べ物を消化して栄養分を吸収しま
す。体内の免疫細胞の約半分が小腸に集
まっており、食べ物と一緒に侵入する細菌等
から体を守ります。

大腸：水分を吸収して便を作ります。

ビフィズス菌や乳酸菌（善玉菌）と大腸菌
（悪玉菌）が存在します。

乳酸菌等が入った食品を摂取し、腸内環境を
整えましょう！

表彰

2/22



大分県なおみ園では障がいの
ある方を多年にわたり雇用して
いることが評され、全国社会就
労センター協議会から感謝状を
いただきました。

福祉農園ハイテク



季節の花々を
揃えています。
お気軽にお問い
合せ下さい。

プリムラ・クリサンセマム
ストック など

お問合せ先

TEL 0977-72-1721
FAX 0977-72-7474

大分県 深草 福祉農園ハイテク

すまいるマルシェ

おかげさまで一周年

一周年記念のマルシェに
は、200名以上の方にご来店
いただきました！これからも
月に1回、natura+（ナチュラ
エイト）前の芝生広場で開催し
ます。



大福

焼きたてのパン勢揃い!

いちごミルク
100円(税込)

抹茶あんブレッド
300円(税込)



特製コロケパン 150円(税込)
カレーフランク 200円(税込)

カフェ&レストラン natura+ (ナチュラエイト)

菜の花とアサリの
ペペロンチー!

プチパン(おかわり自由)
・サラダのセット
950円(税込)



だて
伊達シェフ

シェフのきまぐれ
メニューも大好評!!

住所 〒879-0471 宇佐市四日市2482番地1
TEL 0978-25-4688 FAX 0978-32-1071

今年度は新しい50年に向けての
第一歩です。37名の新入団職員を
迎え新しい歴史の始まりです。



春です。様々な思い
を胸に新年度のスター
トをきった方も多いの
ではないでしょうか。

さて、昨年度は法人

50周年ということもあり、事業団
の歴史を振り返ってきました。膨
大な資料を手にとると、先輩方が
積み上げてきた物の重みを感じま
した。



● 早出味噌

麹の香りが十分に楽しめる
あっさりとした甘み

750g 1,000円(税込)

● 熟成味噌

まろやかなコクと香り
風味豊かな味わい

750g 1,200円(税込)

お問合せ先

大分県なおみ園 ワークプレイスなごみ
電話 0972-28-7333 FAX 0972-28-5552